

ユリ小球開花性新品種 ‘鳥鱗 1号’

1 新しい品種の内容

(1) 背景・目的

球根を種苗として栽培するユリは、花色の種類が多く、花形も変化に富み、多用途に使われている。しかし、種苗コストが高く、りん片に分割して増殖するにも球根養成に3～5年を要することから、県内での栽培は少ない。

県内では、種子から切り花生産可能なシンテッポウユリの栽培が中心であるが、花は白色のみで用途も仏花に限られる。そこで、球根養成期間が短く、有色でアレンジメント利用可能な小輪品種の開発を行った結果、‘鳥鱗 1号’を育成したので紹介する。

(2) ‘鳥鱗 1号’の要約

- 1) 花の向きは斜上、花被片の中央部の主な色は鮮橙黄、花被片の斑点は極少。花の大きさは球根繁殖性の在来品種‘モナ’より小さく、交配親のヒメユリより大きい。
- 2) 球根養成に要する期間が、従来の球根繁殖性のユリと比べて1/3と短く、りん片繁殖苗から採花可能であり、季咲き時期は6月下旬とヒメユリと比べてやや晩生である。

2 試験成果の概要

(1) ‘鳥鱗 1号’の育成経過

2008年に種子繁殖性であるシンテッポウユリ‘さきがけ雷山’を子房親に、小輪で黄花のヒメユリとキヒメユリの雑種選抜系統を花粉親とし、花柱切断交配法^{注)}と胚珠培養により種間雑種個体を獲得した。2009年度に試験管内で球根を培養後、2010年から2012年にかけて系統選抜試験を実施し、りん片繁殖苗から花茎が揃って伸び、小輪・黄花で上向き咲きの生育旺盛な‘鳥鱗 1号’を選抜した。

注) 花柱切断法：めしべを長さ1cmに切断して短くして切れ込みを入れ、そこに授粉する方法。この方法により、通常交配では花粉管の伸長が途中で停止して未受精となる組み合わせでも受精可能となる。

(2) ‘鳥鱗 1号’の特性

- 1) 球根養成期間が従来の球根繁殖性ユリの1/3と短く、りん片を挿してから1年以内に開花するため、低コストで切り花生産が可能(表1)。
- 2) 花の大きさは、花被片長が7.7cmであり、スカシユリ‘モナ’より小さく、ヒメユリより大きい(図1、表2)。花弁はやや光沢のある明るい鮮橙黄(RHSカラーチャート：Vivid Yellow)である(表2)。花の斑点はヒメユリに比べ極めて少ない(図1)。
- 3) 花は上向きで花束やアレンジメントに使いやすく、箱詰めしやすい(図2)。
- 4) 草姿はヒメユリと比べ、葉数が多くボリュームがある(表2、図2)。
- 5) 花の付き方、輪数および草姿に対する評価は、市場関係者(県外市場7社、県内生花店6社)から「良い」8社及び「普通」3社と約8割から良好な回答を得た(データ省略)。

(3) ‘鳥鱗 1号’の栽培

‘鳥鱗 1号’は季咲き作型では9月にりん片繁殖、11月に苗を定植すると、翌年の6月下旬に採花可能であり、ヒメユリと比べてやや晩生である(表2)。

表1 りん片繁殖苗による栽培スケジュール

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
従来 球根繁殖性 ユリ	1年目				球根養成				りん片繁殖	↓			
	2年目				球根養成								
	3年目						収穫					定植	
鳥鱗1号							収穫		りん片繁殖	↓			
												定植	

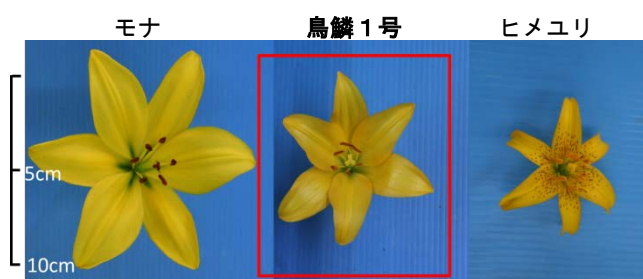


図1 花の大きさ比較



図2 草姿(左)および花蕾(右)

表2 特性比較表

形質	品種・系統	鳥鱗1号	モナ	ヒメユリ
草丈	(cm)	76.5	61.1	57.5
茎中央部の葉数	(枚)	20.0	28.2	8.1
葉の長さ	(cm)	11.4	8.1	8.4
葉の幅	(mm)	9.7	12.0	6.0
輪数	(個)	3.0	4.9	1.1
花被片の長さ	(cm)	7.7	8.1	4.2
花被片の幅	(mm)	25.8	31.5	13.3
花被片中央部の色 (RHSカラーチャート)		Vivid Yellow (15A-16A)	Vivid Yellow (14B)	Light Orange Yellow (16B)
やくの色		橙黄	褐	橙黄
柱頭の色		黄	褐	黄
開花日		6月24日	5月10日	6月12日

注)2013年試験成績 各品種10株 2反復
茎中央部の葉数: 茎を三等分した中央部の葉数

3 普及の対象及び注意事項

- (1) 普及の対象
県内全域の花き農家
- (2) 注意事項
 - 1) ‘鳥鱗1号’は品種登録出願中である(品種登録出願日:2018年2月13日、品種登録出願番号:第32841号)。
 - 2) 葉枯病に罹病性であるため、定期防除を徹底する。
 - 3) ‘鳥鱗1号’を用いた秋冬出荷作型は、抽だい率が不安定であるため現在技術確立中である。

4 試験担当者

花き研究室	研究員	大津真士
	室長	岸本真幸